

本論文で著者が何を意図しているのか、わからない。

「広域」とする意味およびその規模をどう考えているのか、図-2 では特に広域にする必要性はない。

「計画」をどう考えているのか、図-1 の中で「水道」を水環境の中に位置づけており、5 で上水下水のせまい範囲の研究を否定しているが、本論文の中でその位置づけがなされていない。3 で述べられていることは「設計」であって、そこでの構成要素の1つ1つが水環境に与えるインパクトないし影響とフィードバックさせるものがあってはじめて「計画」となると考えられる。本論文には、この関係があきらかにされておらず、計画論とはなりきれていないと思われる。

本論文で考えた具体的ケーススタディを示していただければ上記疑問も解消されると思うので、発表時には示してもらいたい。